

くりはま花の国の魅力向上に向けた民間活力導入に係る
マーケットサウンディング

結果概要

令和6年5月

横須賀市

◎本事業におけるマーケットサウンディングについて

くりはま花の国は、現在年間約 40 万人の来園者を集めています。横須賀市では、本公園を、南部の 4 大拠点に位置づけられる本市の顔となる公園として適切に維持していくために、この地域資源・魅力の充実・強化を目指しています。また、花の時期はもちろん、それ以外の時期についてもさらなる来園者を誘致するために、園内の回遊性の向上や花の広場の活用など、公園の魅力を高めるリニューアルを検討しており、リニューアルにあたっては民間活力を取り入れる予定です。

そこで、本事業における民官連携ポテンシャルや事業を実現するための条件等について、様々な知見・ノウハウを有する民間事業者の皆様からご意見を頂くことを目的として、マーケットサウンディングを実施しました。

令和 6 年度以降には、事業スキームや事業条件の詳細検討等、事業化に向けたマーケットサウンディングを実施する予定です。

1 マーケットサウンディングの開催概要

(1) 調査の実施経過

本調査の実施経過は以下の通りです。

日付	内容
令和 6 年 2 月 14 日 (水)	サウンディング実施要領等の公表
令和 6 年 2 月 28 日 (水)	エントリーシート of 提出締切
令和 6 年 3 月 4 日 (月)	調査票 of 提出締切
令和 6 年 3 月 11 日 (月) ~ 19 日 (火) (3 月 13 日 (水) 及び 18 日 (月) を除く)	個別対話実施

(2) 参加事業者数

本調査には、14 事業者からのご参加をいただきました。

⇒ 「造園・公園運営事業者」: 3 者、「施設運営事業者」: 3 者、
「モビリティ関係事業者」: 3 者、「アート事業者」: 2 者、
「スポーツ事業者・団体」: 2 者、「その他」: 1 者

2 提案・対話の概要

(1) くりはま花の国のポテンシャルについて

- ・ ペリー上陸の地や花の公園としての魅力や知名度があり、県外客も多く利用されていることから、さらなる来園者増を見込める魅力・ポテンシャルがあるという意見が多く得られました。
- ・ 鉄道駅から徒歩圏内、フェリーや高速道路のインターチェンジからも近いこと、地理的な魅力・ポテンシャルがあるという意見が多く得られました。
- ・ また、地元商店街に近いこと、プロサッカーチームの練習場の誘致、市立病院の建設など、若い世代が住みやすい街づくりが展開されており、地域の魅力・ポテンシャルがあるという意見が多く得られました。
- ・ 園内コンテンツが豊富で、子供からお年寄りまで多様な楽しみ方ができる施設的な魅力・ポテンシャルがあるという意見が多く得られました。
- ・ 園内の高低差は、課題であるとともに、他の公園にはない魅力でもあるという意見もありました。

(2) くりはま花の国の活用について

①活用コンセプト

- ・ 花を体験できる「体感型フラワーパーク」など、花の魅力を活かす提案が多く得られました。
- ・ 園内の高低差の解消手段として、リフトや電動カート等の移動手段の導入により、家族3世代を集客し、「来園者層の拡大」と「回遊性の向上」を図る提案が多く得られました。
- ・ 子供からお年寄りまで、誰もが気軽に自然と触れあい楽しめる憩いの場や、インクルーシブ広場の導入の提案が得られました。
- ・ 市民が文化芸術を楽しむことを大切に、文化の担い手の育成と支援に力を注いでいることから、文化芸術（アート）の要素を取り入れる提案が得られました。
- ・ ゴジラが上陸した地の設定であることを活かす提案が得られました。
- ・ 総合レジャー・スポーツ施設としての宿泊施設と、国際レベルのスポーツ施設の整備等について提案が得られました。
- ・ 隣接する公共施設等との連携による相乗効果を引き出し、エリア価値を向上させる、との意見も得られました。

②ターゲット層

- ・ 老若男女問わず幅広い客層とする、との提案が多く得られました。
- ・ 平日と休日でターゲット層を分けて想定する提案も得られました。
- ・ リニューアルにより、市外・県外客のほか、インバウンドも誘致したい、との意見

も得られました。

- ・ 導入コンテンツにより、スーパー・アーリーアダプター^{※1}やハイエンド層^{※2}の社会的影響力が高い人々の集客を目指す、との意見も得られました。
- ・ 国際レベルのスポーツ施設の整備により、海外からの選手団や観客、国内のナショナルチームを呼び込む、との意見も得られました。

※1 アーリーアダプター：新しい商品やサービスを早期段階で受け入れる、初期採用者層

※2 ハイエンド層：富裕層

③導入すべき施設

<実施を見込む事業>

- ・ 次のような事業の提案が得られました。
 - 高低差を活かしたアトラクション
 - キャンプ場／バーベキュー広場／健康ロード／じゃぶじゃぶ池／飲食店／地域物産・植物直売所／
 - 東京湾を望める施設／
 - 本格的なアーチェリーやエアライフル等のスポーツ体験施設／
 - 音楽・ダンス施設／アート作品
- ・ 既存施設の再整備として次のような事業の提案が得られました。
 - アーチェリー場やエアライフル場の再整備と魅力発信／
 - 「くりはま kids ガーデン」を活かした親子交流の場／
 - 園内サインの整備による外国人への配慮
- ・ 周辺施設との連携では次のような事業の提案が得られました。
 - 地域店舗の誘致

<モビリティの導入による回遊性向上施策>

- ・ 回遊性向上に向けた、次のような園内モビリティの導入の提案が得られました。
 - リフト・ケーブルカー等／トロッコ／
 - グリーンスローモビリティ／電動カート／電動キックボード
- ・ モビリティへのクーラー搭載やアートデコレーション、ネーミングライツの提案も得られました。

<花による魅力向上・集客施策>

- ・ 年間を通じて花を楽しめる花畑づくりの提案が多く得られました。
- ・ 花の少ない時期の施策として、新技術や映像、アート等による花の体感機能の導入の提案が多く得られました。
- ・ インフルエンサー、ユーチューバー等を招いた魅力発信の提案も得られました。

- ・ インバウンド需要に対応し、伝統文化と技術の継承を目的に日本庭園を設置する提案も得られました。

<その他>

- ・ 地形上、公園全体を見渡せないことから、園内情報（エリアごとの混雑状況など）がわかる案内媒体を導入する提案が得られました。

④イベント、プログラム

- ・ 次のようなイベントやプログラムの提案が得られました。
 - ポピー刈取り体験／植物関連のワークショップ／
 - 花や植物をテーマとしたフェスやマーケット／
 - 花とアートを関連付けたイベント・ワークショップ／
 - 音楽やダンス・映画等の文化系イベント／
 - トレイルラン・マラソン／ノルディックウォーキング／
 - アーバンスポーツ／
 - 本格的スポーツの子ども向け体験会
- ・ 国民スポーツ大会や国際大会の開催、周辺施設や周辺イベントとの相互連携等の提案も得られました。

⑤リニューアルのイメージ（ゾーニング／施設配置等）

- ・ モビリティを導入した場合のルートや配置等の提案が多く得られました。
- ・ 高低差を活かしつつ回遊性を持たせるための花やアートの配置の提案が多く得られました。
- ・ 案内看板の配置・表示内容等の計画を見直す提案も得られました。
- ・ 来園者が多い時期の渋滞等に考慮し、メインの入り口を変更する意見もありました。

(3) 事業スキーム等について

①相応しい事業手法

- ・ 「Park-PFI」と回答した事業者が最も多く、次いで「指定管理」と回答した事業者が多い結果となりました。

②事業の運営方針、収支見込み

- ・ 具体的な収支見込みに関する意見は得られませんでした。
- ・ 入園料（有料化等）に言及する意見もありました。

③参画にあたり重要と思われる事業条件

- ・ 事業費（老朽施設の修繕費用・時期、長寿命化予算、インフラ整備、採算性等）に関する意見が多く得られました。
- ・ 事業手法や応募体制に関する意見も多く得られました。
- ・ 駐車場の拡張や、自主事業を行いやすい条例改正等に関する意見も得られました。

（４）本事業への参画意向

- ・ 「非常に関心があり、ぜひ活用事業者として参画したい」と回答した事業者が最も多い結果となりました。

（５）市に期待する役割、その他意見等

- ・ 市による費用負担（施設整備費や修繕費等）、使用料の減免、利用料金制の導入等に関する意見が多く得られました。
- ・ 事業者マッチングを希望する意見が多く得られました。
- ・ 各種許認可取得への協力、園内施設（サイン）整備の希望等の意見もありました。

3 今後の方向性

本調査により、くりはま花の国の魅力向上に向けた民間事業者の参画意欲が確認できたことから、くりはま花の国のリニューアルに向け、民官連携手法の導入を前提としたコンセプト及び導入機能を検討していくこととします。また、リニューアルの前提条件として市による一定の施設整備等の必要性が示されたことを踏まえ、市としての財政負担範囲やスケジュールも含めて事業内容を検討していきます。

これらの検討の後、事業手法、事業スキームなどの公募条件の素案を提示して、2回目のマーケットサウンディング調査を実施する予定です。

4 連絡先

横須賀市建設部公園管理課民官連携事業担当

住所：〒238-8550 横須賀市小川町11番地（横須賀市役所2号館6階）

電話：046-822-9562（直通） 担当：辰馬、宇野澤、西山

E-mail：pac-ep2@city.yokosuka.kanagawa.jp